

令和2年11月14日

言葉の処方箋 病気は人生の夏休み 樋野 興夫 P22

01 八方塞がりでも、天は開いている

行くも戻るもままならない。右も左も進めない。
私の人生はこれでおしまいか。人生八方塞がり。

もしあなたがこのような気持ちに陥っているとしたら、私はこの言葉を贈るでしょう。「八方塞がりになっても、天は開いています」

少しだけ顔を上げて、空を見てください。天はいつでも誰の上にも同じように開かれています。どんな境遇にあっても、あなたにはあなたにしかできない役割があります。大事なはそのことに気づけるかどうか。

できる限りのことをしたら、あとは天に任せる。そこから先のことは私たち人間のコントロールを超えたところにあります。

「とうてい逃れられない困難で、不幸が長くつづき、心も身も疲れはて、逃げる場所も隠れる場所もないと、人生の生きる望みをうしなつたとき、心を落ち着けて、天を仰ぎ、心に念ずれば、どことなくぐさめてくれる風が吹いてくるのはどうしてであろうか」(新渡戸稲造)

岡倉天心記念がん哲学・巣鴨カフェ「桜」

代表 山本 ひろみ

gantetu_sakura@yahoo.co.jp

090-8501-0826

<https://sugamo-sakura.com/>

後援：一般社団法人がん哲学外来

<http://www.gantetsugaku.org/>



桜紅葉

秋が深まり、樹々が色づき始めていますが、他の樹より少し早く色づくのが桜の樹。桜と言えば春の満開の桜が美しいですが、秋の桜も美しく彩り豊かな世界が広がっています。

緑色だった葉が黄色～オレンジ色、そして赤へと変わっていく様子、葉一つ一つ色がちがいますし、樹によっても色合いが異なっています。

春に見上げた桜の樹を秋にもう一度見上げてみるのもよいかもしれません。きっと桜の樹の神様がそれぞれのお気持ちに寄り添って下さるように思います。。



桜の落ち葉は、桜餅の香りがします。クマリンというその成分は、リラックス効果があると言われています。ちょっとだけマスクをはずして、その香りもぜひお楽しみください。

本日はお越しいただき、ありがとうございました。

次回は12月12日(土) 無理のない範囲でのご参加をお待ちしております。どうぞよろしくお願いいたします。